

事務事業名	女性連絡協議会活動支援事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんなが元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務企画部	所属課	総務課
施策名	17	人権が尊重される社会づくり				所属係	総務選挙班	課長名	出口増穂
基本事業名	64	男女共同参画推進活動の実践				担当者名	岡本貴子	電話番号 (内線)	096-248-1112 1218
予算科目	会計 01	款 02	項 01	目 15	事業	法令根拠	男女共同参画社会基本法・合志市助成連絡協議会事業補助金交付要綱		
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 13 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の内容) ・「合志市女性連絡協議会事業補助金交付要綱」に基づき、男女共同参画社会づくりの推進を目的として、合志市の女性・女性団体、及びグループで構成する当会の拠点となる事務所の管理運営に関する経費や研修及び活動に係る経費に対して補助を行う。 (業務の内容) ・事務所の経費のうち、光熱費及び電話料の基本料 ・役員会、定期大会、おしゃべりサミット(講演会及びワークショップ)、活動報告会(活動報告及び講演会)をまちなっと“セラヴィ”主催により実施。合志市は共催。 (予算の内訳) 負担金補助及び交付金						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							人件費	事業費計 (A)	0
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間	
							人件費	人件費計 (B)	0
							人件費	トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”へ事務所の管理運営に関する経費や活動研修における経費を補助した。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

・18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・女性連絡協議会まちなっと“セラヴィ”

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・女性連絡協議会補助金交付要綱に基づき、男女共同参画社会づくりの活動を活発にできるようにする。
 ・女性連絡協議会々員相互の理解が深まる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

・男女共同参画に向けて取り組むようになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 補助額	円
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 加入団体数	団体
イ	
ウ	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 活動が活発にできるようになったと感じた会員数	人
イ 理解が深まったと感じる会員数	人
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 委員会、審議会への参用率(行政、学校、町内会代表における女性比率)	%
イ 町内会代表における女性比率	%
ウ 男女共同参画社会が構築されてきたと思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			400	400	400	400	400
			事業費計 (A)	千円	0	0	400	400	400	400	400
	人件費	正規職員従事人数		人			3	3	3	3	3
		延べ業務時間		時間			816	656	656	656	656
		人件費計 (B)		千円	0	0	3,240	2,604	2,604	2,604	2,604
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	3,640	3,004	3,004	3,004	3,004
活動指標			円			400000	400000	400000	400000	400000	
			アイウ								
対象指標			団体			18	14	15	16	17	
			アイウ								
成果指標			人			25	21	23	25	27	
			アイウ			25	21	23	25	27	
上位成果指標			アイウ	%							
			アイウ	%							
			アイウ	%							

事務事業名	女性連絡協議会活動支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 ・平成13年、当時の女性議員(男女共同参画推進懇話会長)が、大津町の女性連絡協議会にならって、旧合志町にも同様な団体を設立。その後、平成14年9月に旧法務局事務所の2階を約300万かけて改築し、協議会事務所を開設し、活動の拠点にしている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 ・当会自体は、活発に活動しているが、会員の広がりがなく、固定化し、マンネリ化していることは否めない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ・旧西合志町の個人、団体を巻き込みたい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ ・当会は男女共同参画社会づくりを目的に、講演会等を市民向けに実施しており、そのことで各種団体等の女性の登用率や比率が高まる事が期待される。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ ・当会は、全市民対象のイベントを実施しているので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ ・対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・合志市職員や各種団体の長により多く参加してもらい、女性登用等の男女共同参画推進をより明確に訴える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・地域、市民の自主的な男女共同参画のまちづくりが停滞する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ・類似の目的を持つ団体はないが、市主催の事業との抱き合わせは考えられる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・毎年40万円の補助金を出しているが、施設管理費が中心なので、事業費と施設管理費の整理をして、予算を削減する余地はある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・市共催、補助金交付等により削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・補助金自体は一団体だけだが、その一団体が、全市民対象にイベントを実施しているので、公平・公正になっている。

合志市

事務事業名	女性連絡協議会活動支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

・効率性については、補助金の有り方(施設管理、事業費)を見直し、また、旧西合志の女性団体・個人の取り込みも含めて考えていく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- ・旧西合志の女性団体・個人に会議等での時間をもらい、加入への働きかけをしていく。

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・教育委員会、健康福祉部等管轄の団体や個人に、“セラヴィ”加入の働きかけを行う。

・旧合志町のイメージが強く、旧西合志の方々が入りづらい感覚があるので、それを払拭するために、“セラヴィ”の方々が出向き、加入依頼をしていく必要がある。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項